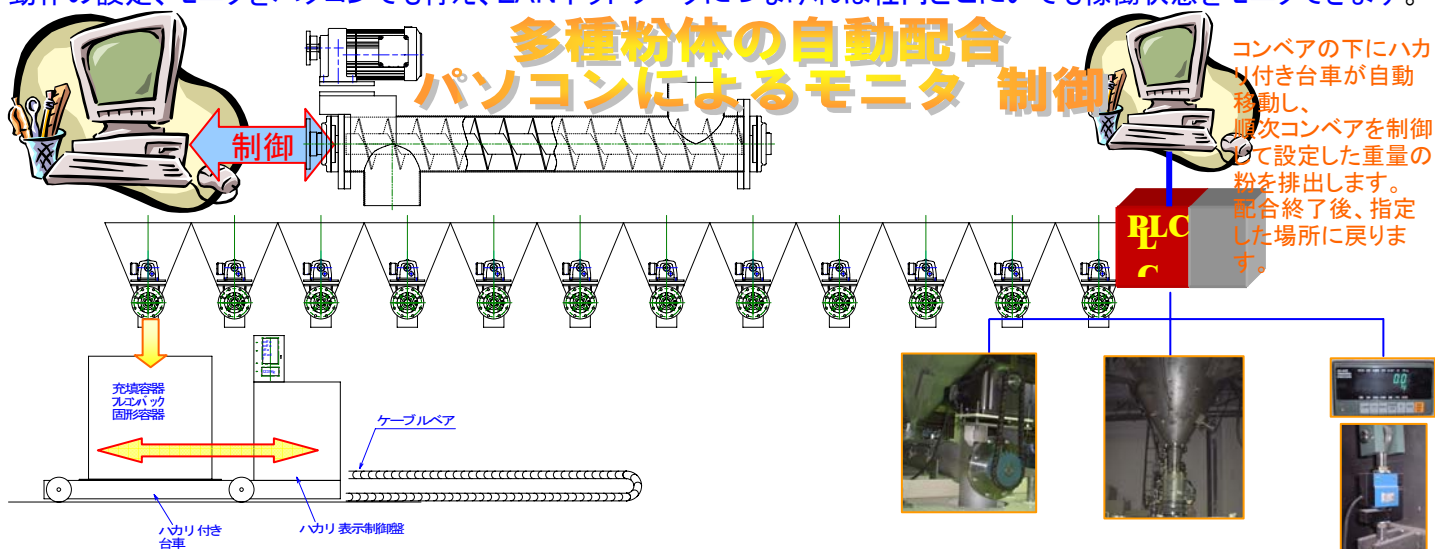


多種粉体 自動計量配合装置 APM-Haigo アワジ

★移動はかり台車 ★複数の供給機 ★パソコン ★制御盤 にて構成されます。容器を載せたはかり付き移動台車が供給機の下まで自動移動し、複数の粉を1つの容器に自動配合します。動作の設定、モニタをパソコンでも行え、LANネットワークにつなげれば社内どこにいても稼働状態をモニタできます。



コンベアの下にハカリ付き台車が自動移動し、順次コンベアを制御して設定した重量の粉を排出します。配合終了後、指定した場所に戻ります。

自動配合

はかり付き移動台車が自動移動して、供給機から粉を自動計量排出。粉の配合を自動化します。コンベアラインをつけて完成したフレコンバックを自動排出することも可能です。

選べる供給機

粉の供給機は粉の特性、計量精度を考慮して選択出来ます。●スクリー ●ベルト ●振動式 ●自然流下 ●脱気充填

配合方法の選択

配合方法は●はかり付きのタンクにて計量排出する方法 ●台はかり付きの台車を容器ごと移動する方法 があります

供給機の数に自由にレイアウトします



移動台車にはかりをつけるレイアウトがコスト安ですが、供給機側のタンクにはかりを載せれば、同時に複数の混合を行うことが可能です。残量チェックも行えるので円滑な運用が可能になります。

選べる供給機

供給機は粉に合わせて選択。スクリー、脱気型、ベルト、自然流下、空気輸送

はかりの制御はシーケンサにて実行

パソコンから送られてきた指令はシーケンサにて実行するので、安定性に問題はありません。パソコンなしで運転することも可能です

パソコンによる制御 モニタ



数多くのコンベアや、はかり等を管理する場合、現場よりも事務室で管理したい時に有効です。現場制御のタッチパネルよりも入力しやすいパソコンにてデータを入力可能です。過去に打ち込んだデータは保存できるので多品種少量生産に対応。データ入力を生産計画部署のファイルから読み込めば配合ミスもおこらず、入力の手間が省けます。

パソコンによる遠隔モニタネットワーク化

シーケンサとパソコンはイーサネット、TCP/IPで接続します。機械設備の近くに1台パソコンを設置して、もう1台を遠隔地に設置して、動作をモニタすることも可能になります。LANネットワークが既にあるなら社内どこにいても機械の運転、タンク内の残りの量をモニタすることが可能になります。

データの自動読み込み

社内の生産計画部署にて作成したパソコンデータを読み込んで機械の運転プログラムを作ることも可能

A4用紙に印刷

計量結果をパソコンからA4用紙等に印刷できるので、そのまま社内文書で保存が可能です。文書レイアウトをユーザ様指定のフォーマットにすることができます